

## 『木曾義仲と源平合戦の世界』



歌川国芳  
『木曾街道六十九次之内 板鼻 御曹子牛若丸』

大判錦絵揃物の内 嘉永5年(1852)5月  
林屋庄五郎版

6月9日(木)から、企画展「木曾義仲と源平合戦の世界」を開催します。

日本の歴史で人気のある時代といえば、一つは戦国時代、二つめは幕末維新の時代、そしてもう一つは源平合戦の時代ではないでしょうか。

さて源平合戦の時代。おなじみの人物が多数登場します。例えば「木曾殿」と呼ばれた源(木曾)義仲と巴。野性味を帯びた武人・義仲と、その幼なじみであり妻であった巴は、死に至るまで一緒に戦い続けます。例えば安徳天皇と共に西海で滅び行く平家一門。あるいは源義経とその忠実な臣・弁慶。不運の主を連れて奥州へと落ちていく途中の「勸進帳」の場面。テレビで、映画で、小説で、誰もがどこかで見たことがあるはずです。

源平合戦の登場人物は、浮世絵版画の中にも多数描かれてきました。むしろ今、私たちが抱いているイメージは、江戸時代に、歌舞伎や浄瑠璃、講談、戯作本、そして浮世絵版画といった媒体で脚色、形成された人物像だといっても過言ではありません。

義仲や巴の、あるいは義経イメージの源泉が、きっと浮世絵版画で発見できるはずです。

6月9日(木)～7月18日(月)

毎週月曜日(7月18日(月)を除く)休館

会期終了後、7月19日(火)～21日(木)まで  
展示替え休館します。

### 編集後記

最近、新聞を読んでいると合併し広くなった恵那市の記事が目にとまるようになりました。今までは隣のまちの出来事が、今は自分のまちの出来事に。

愛・地球博岐阜県の日に出演した恵那トビはしご登り、串原の中山太鼓など地域の特色ある文化、芸能が新しい恵那市の魅力のひとつになりました。自分のまちを紹介する時の話題づくりに、温泉、宿泊施設、きれいな自然、歴史あふれる史跡など「自分のまちにはこんないところがあるよ」と魅力が6倍になったという感じがします。まだまだ知らないところばかりですが、市の施策の情報だけでなく地域の文化や特色を紹介し、皆さんと情報を共有していければと思います。原

次号は6月15日号  
発行日は6月15日(木)です

### 広報えな No.14

2005年(平成17年)6月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 秘書広報課  
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉[info@city.ena.gifu.jp](mailto:info@city.ena.gifu.jp)

『広報えな』6月1日号、1部当たりの印刷経費は約15.2円(税込み)です。



『広報えな』は古紙100%の再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。